

図書館だより



枚方市立図書館通信第89号

<http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sub-news/tayori.html>

発行：平成26年5月 枚方市立中央図書館（毎週金曜日・第4火曜日休館）050-7105-8121（こどものフロア）

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962

写真： 御殿山図書館

春爛漫の今日この頃ですが、皆様がいかがおすごしですか。

新しい環境に変わられた方は、健康管理には十分気をつけてください。



●5月のかおり『タケノコ』

5月の始め頃になると、八百屋さんの店先に朝掘りのタケノコにヌカが添えられて置いてあるのを見かけるようになり、春の深まりを感じます。

タケノコは黄色っぽいものを選び、アクを抜くため薄皮を残してヌカを入れてゆで、一晚寝かせて調理します。その際、根元と先端部を少し切ってゆでるのがおいしくゆでるポイントだそうです。



わかめと一緒に若竹煮にしたり、鶏肉や油揚げと一緒に炊き込みご飯にしてもおいしいものです。また、掘りたてのものは、さしみでも食べられます。

日本には温帯性のタケが41種、熱帯性のタケが13種ありますが、食用とされているのは主にモウソウチク、マダケ、ハチク等です。そのうちモウソウチクが代表的なものとして食べられています。名産地として京都の乙訓地方（向日市、長岡京市、大山崎町）が有名です。タケノコは植えつけから3年目で初の収穫ができます。

モウソウチクの場合、透水性のよい粘土質の土壌だとやわらかいタケノコが生えます。乾燥しない西日のあたらない、ゆるやかな傾斜の丘陵地帯が適地です。

またタケノコは食物繊維が豊富なヘルシー食品としても注目の食材です。ほっこりしたものを見つけたら、ぜひ調理してみませんか。

参考：月刊科学の友5 たけのこほり 浜田桂子さく 福音館
そだててあそぼう69 タケの絵本 内村悦三編 石井聖岳絵社）農山漁村文化協会 他

ひらかた絵本まつり2014

～5/12（月）まで。各館・各室にて読み聞かせや工作教室等。

やまなかふゆじ 【山中冬児絵本原画展】

～5/6（祝）まで：中央図書館
1918年大阪市生まれ。大阪美術学校油絵科卒業。シベリア抑留から47年に帰国し絵本画家として活動。

【花と音楽のおはなし会スペシャル】

5/3（土）11:00～、14:00～：中央図書館

各図書館と分室の5月のイベント情報

○読書会

●香里ヶ丘(図) 中高生読書会『幻想郵便局』

堀川アサコ・著／講談社

5月17日(土) 午後3時 2階ホール

●茄子作分室成人読書会『けさくしゃ』

島中 恵・著／新潮社

5月19日(月) 午前10時半

○乳幼児向けおはなし会

●中央(図)

「0歳のおはなしひろば」午前10時半

「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分

5月14・28日(水)

●牧野(図)「親子で楽しむおはなし会」

5月21日(水) 午前11時

●さだ(図)「おはなしいっぱいおはなし会」

5月21日(水) 午前11時

○工作など

●東香里分室 工作「花かざぐるま」

5月24日(土) 午後1時~4時

●香里園分室 工作「フロッグ クロック」

5月17日(土) 午後1時~4時

●釈尊寺分室 工作「新聞紙フリスビー」

5月21日(水) 22日(木) 午後1時~4時半

●茄子作分室 工作「かかしカードいれをつくろう」

5月21日(水) 午後1時~4時半

●氷室分室 工作「マジックカード」をつくろう!

5月15日(木) 午後1時~4時半

●宮之阪分室 工作「アシカのわなげ」

5月15日(木) 午後1時~4時半

●藤阪分室 工作「8の字かざぐるまを作ろう」

5月24日(土) 午後1時~4時

●村野分室 工作「ロケット はっしゃ!」をつくろう

5月16日(金) 午後1時~4時半

○その他

●中央(図) 手話で楽しむおはなし会

5月24日(土) 午後2時

●香里園分室「手話の会」

5月9・23日(金) 午前10時半~12時

●藤阪分室「手話の会」

5月12・26日(月) 午前10時~12時



ふれあいルーム(絵本で子育て)

- 中央図書館 毎週月曜日
- 香里ヶ丘図書館 第1・3(金)第2・4(木)
- 楠葉生涯学習市民センター 第2・4火曜日
- 菅原図書館 毎週日曜日
- さだ図書館 毎週木曜日(第3週は金)
- 牧野図書館 毎週金曜日
- 津田図書館 毎週水曜日
- 御殿山図書館 毎週金曜日

いずれも10時~12時30分(楠葉のみ9時30分~12時)但し、図書館等の休館日には実施しません。

問合先(子育て支援室)072-841-1221代

ほんの紹介

「女子芸人」

神田 茜:著／新潮社

本作の主人公の平たいらのコトリは、漫談家の師匠に弟子入りして早数年、そろそろ独り立ちの時期を迎えている。

一見、とても華やかに見える芸人の世界だが、そこはやはり昔ながらの男中心の完全タテ社会で、女一人で渡っていくには厳しい場所だった。

仕事に悩み、師匠や先輩・後輩との人間関係に振り回され、恋愛にも苦しむ日々もあった。

売れない芸人のコトリは、生活のため引き受けた結婚式の司会や宴会の余興で、はからずも悲喜こもごもの他人の人生の裏面を覗く羽目になる。

まさに浮き沈みの激しい人生を歩んでいたコトリは、仲のよくない妹弟子とコンビを組んで、漫才師として再デビューを目指すことになる。ところが、コンクールの当日思いもよらぬアクシデントが起こり、舞台の上で大ピンチに立たされる。

芸人の世界を背景にした、笑いあり涙ありのエンターテインメント作品である。

ちなみに近著『ぼくの守る星』(集英社)でも注目される著者は真打の講談師で、ホンマモンの女子芸人さんである。

(御殿山図書館)

(全てのイベント等は掲載していません。詳細は各館室まで。)